

2020年3月期

証券コード：5938

第3四半期決算説明資料(IFRS) (2019年4月 - 2019年12月)

株式会社 LIXILグループ
2020年1月31日



Copyright © LIXIL Group Corporation. All rights reserved.

2016年3月期よりIFRSに移行しています 各段階利益の名称の違いは以下の通りです

日本基準	IFRS (当社財務報告)
売上高	売上収益
売上原価	売上原価
売上総利益	売上総利益
販管費	販管費
営業利益	事業利益 (CE)
営業外収益・費用	その他収益・費用
経常利益	営業利益
特別損益	金融収益・費用
	持分法投資損益
税引前利益	税引前利益
当期利益	当期利益
非支配持分に帰属する当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益
親会社の株主に帰属する当期利益	非支配持分に帰属する当期利益

IFRS基準の「**事業利益 (CE)**」は日本基準の「**営業利益**」に相当

2020年3月期 第3四半期決算ハイライト

国内事業が牽引し、増収増益を継続

消費増税後の第3四半期に需要の反動減あるも上期業績が下支え

■ 売上収益 13,965億円、前年同期比1.1%増

国内：ハウジング事業、ウォーター事業、流通・小売り事業が牽引するも、11月以降顕在化した消費増税後の需要の減少により、前年同期比2.8%の増収
 海外：北米での市場の変化、東南アジアの景気後退、および、為替影響⁽¹⁾により、前年同期比3.5%の減収（為替影響を除く海外売上成長は+1.0%）

■ 事業利益 517億円、前年同期比39.3%増

国内：消費税増税前の上期における新築・リフォーム需要増、原価改善施策、価格改定効果を主な背景として、流通・小売り事業を除く全事業において増益
 海外：売上は伸び悩んだものの、セールスマックスの変化等により増益

■ 最終利益⁽²⁾ 307億円、前年同期比286億円増

上記の事業利益の増加、および、子会社株式・関連会社に対する持分の売却益124億円の計上を主因として、税前利益が170億円増加

【通期業績予想】消費増税後の需要減、および、中期計画における施策の遅れを取り戻す施策を考慮して、据え置き

LIXIL (1) 主として円高ユーロ安影響（為替レート：19/3期 3Q実績 1 EUR=129.38円、20/3期 3Q実績 1 EUR=121.46円）

(2) 最終利益=親会社の所有者に帰属する当期利益

3

2020年3月期 第3四半期連結業績結果

億円	19/3期	20/3期	前年同期比	
	3Q実績	3Q実績	増減	%
	実績	実績		
売上収益	13,812	13,965	153	1.1%
[△] ルマスティリーザ [△] 以外	12,609	12,855	246	+2.0%
[△] ルマスティリーザ [△]	1,203	1,110	-93	-7.7%
売上総利益	4,152	4,357	205	4.9%
(%)	30.1%	31.2%	+1.1pt	-
事業利益 ⁽¹⁾	371	517	146	39.3%
(%)	2.7%	3.7%	+1.0pt	-
[△] ルマスティリーザ [△] 以外	462	592	129	+28.0%
[△] ルマスティリーザ [△]	-91	-75	16	-
最終利益 ⁽²⁾	21	307	286	-

■ 売上収益は、上期の好調な国内需要を背景に増収（国内+2.8%、海外-3.5%⁽³⁾）

■ 事業利益率は1.0pt改善。上期に続き、売上総利益率は前年同期比1.1pt改善。

販管費率は、前年同水準を維持。

（ペルマスティリーザを除く事業利益率は4.6%）

LIXIL

(1) 日本基準の「営業利益」に相当

(2) 親会社の所有者に帰属する当期利益

(3) 海外事業については為替影響を除く成長は+1.0%

4

第3四半期（3カ月・累計）セグメント別業績概況

- ▶ 9カ月累計：基幹事業であるハウジング事業・ウォーター事業が引き続き、増収増益を牽引
 3Q3カ月：国内における消費増税後の反動減、前年度の自然災害需要の収束を背景に減収減益

(億円)		第3四半期 3カ月				第3四半期 9カ月			
		19/3期 3Q	20/3期 3Q	増減 金額		19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減 金額	
				うち 為替 影響				うち 為替 影響	
LWT ⁽¹⁾	売上収益	2,185	2,128	-38	-57	6,205	6,236	-115	31
	事業利益	206	189	-3	-17	461	522	-11	61
LHT ⁽¹⁾	売上収益	1,479	1,381	0	-98	4,049	4,171	-2	122
	事業利益	114	84	0	-30	160	266	0	106
LBT	売上収益	721	663	-23	-58	2,024	1,939	-74	-85
	事業利益	-44	-21	3	23	-81	-63	6	18
流通・小売り事業 (D&R)	売上収益	481	470	-	-11	1,360	1,422	-	62
	事業利益	29	17	-	-12	76	69	-	-7
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	148	138	-	-10	410	406	-	-4
	事業利益	12	9	-	-3	26	27	-	1
全社/連結調整 ⁽¹⁾	売上収益	-84	-70	-	15	-236	-210	-	26
	事業利益	-84	-105	-	-21	-271	-304	-	-33
合計	売上収益	4,930	4,710	-62	-220	13,812	13,965	-191	153
	事業利益	234	173	-1	-61	371	517	-5	146

LIXIL (1) 従来「ウォーターテクノロジー事業」に分類していた一部の国内子会社において、当第2四半期連結累計期間から、「ハウジングテクノロジー事業」の重要性が生じ、そのため、当該国内子会社の報告セグメントを「ウォーターテクノロジー事業」と「ハウジングテクノロジー事業」とに分けて表示しております。

国内事業ハイライト（第3四半期3カ月）

- ▶ 消費増税後の需要減少により減収減益なるも、期初の見込み通りに推移。
 通期業績予想は、消費増税後の需要減、および、中期計画達成のための施策等を考慮して据え置き

(億円)		第3四半期 3カ月			第3四半期 9カ月			20/3期 通期 予想
		19/3期 3Q	20/3期 3Q	増減 金額	19/3期 3Q累計	20/3期 3Q累計	増減 金額	進捗率
LWT ⁽¹⁾	売上収益	1,179	1,144	-35	3,259	3,331	72	76.6%
	事業利益	128	103	-25	231	274	43	115.7%
LHT ⁽¹⁾	売上収益	1,454	1,364	-91	3,969	4,106	137	77.8%
	事業利益	111	89	-21	162	271	109	100.7%
LBT	売上収益	295	301	7	821	829	8	71.5%
	事業利益	4	8	4	11	14	3	61.8%
流通・小売り事業 (D&R)	売上収益	481	470	-11	1,360	1,422	62	75.6%
	事業利益	29	17	-12	76	69	-7	111.4%
住宅・サービス事業等 (H&S)	売上収益	148	138	-10	410	406	-4	71.2%
	事業利益	12	9	-3	26	27	1	80.5%
合計	売上収益	3,558	3,417	-140	9,819	10,094	275	76.2%
	事業利益	283	226	-58	507	655	148	104.9%

LIXIL (1) 従来「ウォーターテクノロジー事業」に分類していた一部の国内子会社において、当第2四半期連結累計期間から、「ハウジングテクノロジー事業」の重要性が生じ、そのため、当該国内子会社の報告セグメントを「ウォーターテクノロジー事業」と「ハウジングテクノロジー事業」とに分けて表示しております。

中期戦略 – “持続的成長に向けた組織を作る” (1)

当社と株式会社 LIXIL の合併検討開始

経営の透明性向上によるコーポレート・ガバナンスの強化と、経営効率の改善を目的として、持株会社であるLIXILグループと国内最大の事業会社である株式会社LIXILとの二層構造解消について検討開始を決定⁽¹⁾

■ 背景

当社グループは、企業理念である、世界中の人々のより豊かで快適な暮らしの実現に貢献し、持続的な競争力と成長を実現するとともに、起業家精神にあふれた企業となることを目指しています。

その達成のため、迅速な意思決定ができる簡素な組織への変革を進めるとともに、コーポレート・ガバナンスの強化、生産性と効率性の向上のための、様々な取り組みを行っています。

■ 今後の見通し

本取引は、当社と当社の完全子会社の合併であり、合併による当社連結業績への直接の影響はありませんが、経営および人的資源の重複の解消、追加的な運営コストの削減等からは、今後ポジティブな影響を見込んでいます。本件合併の詳細は決定次第、速やかにお知らせします。

■ 本件合併検討の目的

1. 二層構造解消による意思決定の迅速化
2. 経営・人的資源の重複解消による経営効率の改善
3. 経営の透明性向上による、コーポレート・ガバナンスの強化

■ 今後の予定

プロジェクトチームを設置し、本件合併の方法、合併完了時期、本件合併後の体制等について検討を進めて参ります。



(1) 2020年1月27日公表適時開示 <https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/tdnet/1785903/00.pdf>

7

中期戦略 – “持続的成長に向けた組織を作る” (2)

国内事業を活性化するための人事プログラム「変わらないと、LIXIL」をスタート

LIXILグループは、持続的な成長の実現に向けて、国内事業の活性化を推進。組織のさらなる成長と変革を加速させるため、新たな人事プログラムをスタート⁽¹⁾

変わらないと、LIXIL

目的

1. 顧客志向の組織への転換
2. 次世代の人材を育てることによる経営の活性化
3. 柔軟かつ効率的な働き方を可能にすることによる、生産性の向上

キャリアオプション制度の導入⁽²⁾

- **制度概要**：日本国内において、一定の年齢および勤続年数に達した正社員が、自身のライフプランまで含めたキャリアを総合的に考え、定年を待たずに当社グループ外へのキャリア転進を選択することができる制度
- **運用期間**：5年を予定
- **初年度募集期間**：2020/2/17～2/28
- **特別退職金・再就職支援サービスにかかる費用**は20/3期4Qに販売費及び一般管理費として費用計上予定。

顧客志向に変える

お客さまやエンドユーザーに近い業務に、経験豊富な人材を重点的に配置

キャリアを変える

従業員のキャリアステージに応じた人材育成、実力主義の加速、人事評価制度刷新、キャリアオプション制度⁽²⁾ 導入等

働き方を変える

働き方に対する意識改革や、有休取得推進、フレックスタイム制や在宅勤務制度の条件緩和、サテライトオフィス勤務の導入等



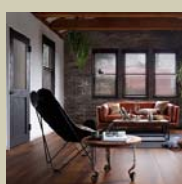
(1) 2019年11月25日公表 ニュースリリース https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20191125_Kawaranaito_J_Final.pdf
(2) 2019年11月25日公表 適時開示 <https://ssl4.eir-parts.net/doc/5938/tdnet/1773639/00.pdf>

8

セグメント別決算の概要



Water Technology



Housing Technology



Building Technology



流通・小売り



住宅・サービス

Water Technology / ウォーターテクノロジー事業

日本事業の上期好調が牽引し増収増益。海外事業は、上期に続き増収増益

4月-12月 億円		20/3期 3Q	YoY 現地通貨 ベース	20/3期 通期予想		
地域別売上 (1)	アメリカ	1,053	-2%	+2%		
	欧州、中東、 アフリカ地域	1,265	+5%	+2%		
	アジア太平洋地域	798	-3%	+8%		
	日本	3,331	+2%	0%		
	連結調整	-212				
	Water Technology	6,236	+1%	8,600	+3%	
			事業 利益率%		事業 利益率%	
事業利益 (1)	アメリカ	63	+39%	6%	+51%	7%
	欧州、中東、 アフリカ地域	178	+16%	14%	+10%	14%
	アジア太平洋地域	71	+1%	9%	+32%	10%
	日本	274	+18%	8%	-19%	5%
	連結調整	-65				
	Water Technology	522	+13%	648	+8%	
	事業利益率	8.4%	+0.9pt	7.5%		

■ アメリカ

- ✓ 売上高は、新規重点領域であるプロジェクトおよびエンドユーザー直販リフォーム事業が好調も、従来の小売・卸チャネルでの苦戦により減収。セールスマックス変化による売価改善・販管費削減により増益

■ 欧州、中東、アフリカ地域

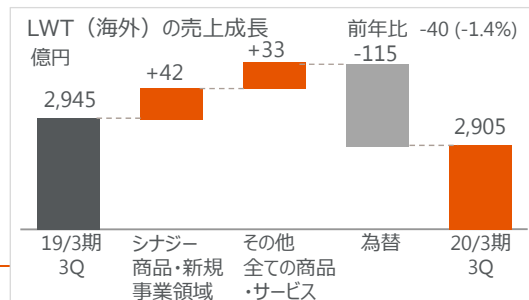
- ✓ 中欧・東欧・中東における売上好調。欧州売上前年比8%増。南アフリカは操業安定化し、赤字幅半減

■ アジア太平洋地域

- ✓ 中国が依然好調も、米中貿易摩擦の影響が東南アジアに波及し、売上横ばい。

■ 日本

- ✓ 消費税増税前の上期の旺盛な需要を背景に、11月以降には反動減あるも、9か月累計では増収増益を維持



LIXIL

(1) 地域別はマネジメントベース、合計は制度会計ベース
 制度連結会計 為替レート： 20/3期 3Q 実績 1 USD=109.10円、1EUR=121.46円
 マネジメントベース為替レート： 20/3期 1USD=115円、1EUR=133円で比較、20/3期 前提 1USD=115円、1EUR=133円

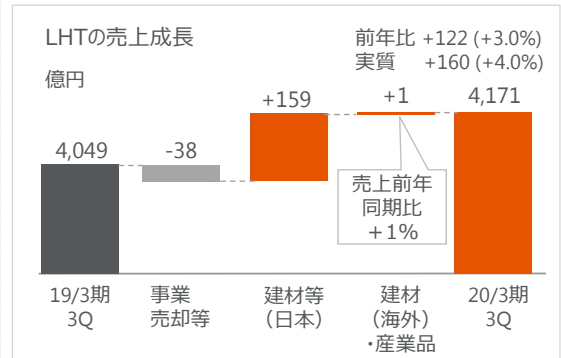
Housing Technology / ハウジングテクノロジー事業

消費増税増税前の上期の好調な国内需要、製造コストの低減により増収増益。
エクステリア・インテリア建材の売上伸長等により、商品ミックス良化し、利益率大幅改善

4月-12月 億円		20/3期 3Q	YoY	20/3期 通期予想
地域別売上	日本	4,106	+3% ⁽¹⁾	0%
	海外	66	-18% ⁽²⁾	-35%
	Housing Technology	4,171	+3%	5,350 -1%
事業利益	Housing Technology	266	+66%	259 25%
	事業利益率	6.4%	+2.4pt	4.8%

■ 日本
消費増税後の需要減、および前年度の自然災害に起因したエクステリア需要の収束あるも、9か月累計では増収増益を維持

価格改定効果、エクステリア・インテリア建材の売上伸長とプラットフォーム化の進捗による生産効率改善（コストダウン効果）を背景として、事業利益率は、前年同期比2.4pt改善



LIXIL (1) 売却等影響除く +4%
(2) 売却等影響除く +9%

11

Building Technology / ビルディングテクノロジー事業

海外事業における為替影響・選別受注により減収なるも、事業利益は再生計画の進捗により赤字幅縮小

4月-12月 億円		20/3期 3Q	YoY	20/3期 通期予想
地域別売上	日本	829	+1%	+3%
	海外	1,110	-8% ⁽¹⁾	+3%
	Building Technology	1,939	-4%	2,630 +3%
事業利益	Building Technology	-63	+18	-97 -
	事業利益率	赤字	-	赤字

■ 日本
3Qにおいて大型物件完工により、増収増益

■ 海外 (ペルマスティリーザ)
円建てでは主に対前年同期比円高為替影響⁽¹⁾による減収、現地通貨ベースでは1%減収
事業損失は、現地通貨ベースでは、計画に沿って推移

キャッシュフローの改善、収益性の回復をめざした再生計画⁽²⁾を執行中

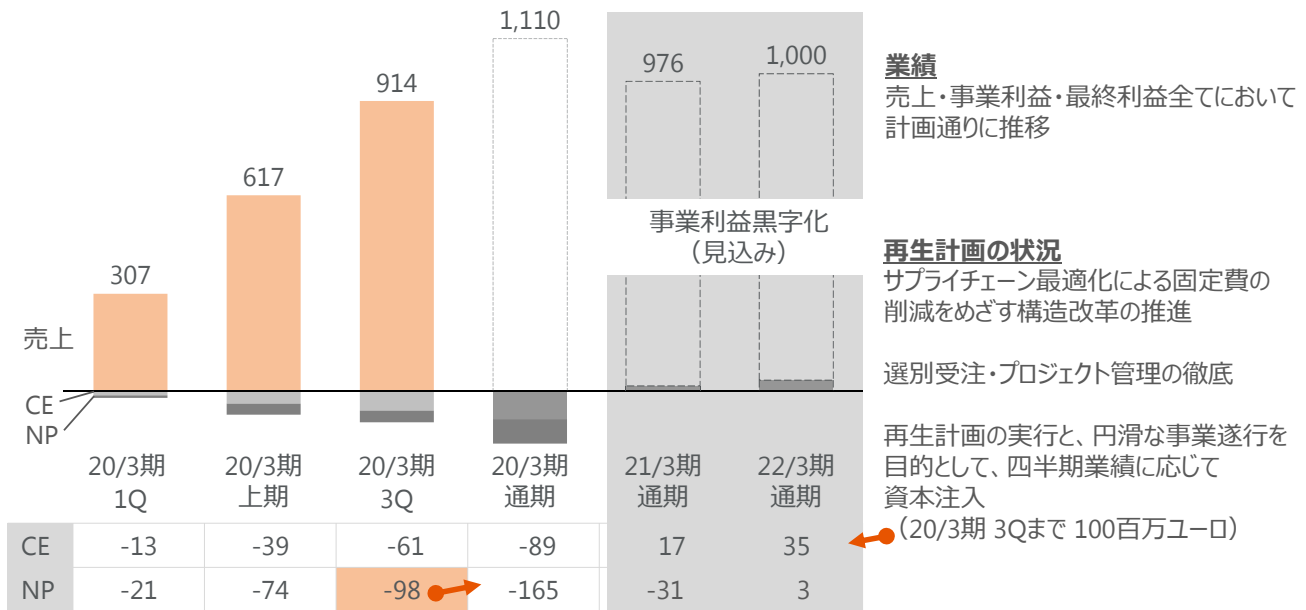
LIXIL (1) 制度連結会計 為替レート： 19/3期 3Q実績 1EUR=129.38円 vs 20/3期 3Q実績 1EUR=121.46円の差による為替影響
(2) 2019年4月18日公表「海外子会社における損失の計上に伴う通期業績予想の修正、および国内子会社での特別損失の計上に関するお知らせ」を参照

12

ペルマスティリーザ社についてのアップデート

再生計画の進捗について

ペルマスティリーザ社の四半期毎（累計）の業績推移と年度計画⁽¹⁾
 （単位：百万ユーロ）



業績
 売上・事業利益・最終利益全てにおいて計画通りに推移

再生計画の状況
 サプライチェーン最適化による固定費の削減をめざす構造改革の推進
 選別受注・プロジェクト管理の徹底

再生計画の実行と、円滑な事業遂行を目的として、四半期業績に応じて資本注入
 (20/3期 3Qまで 100百万ユーロ)



数値は連結調整後。CE=事業利益、NP=最終利益

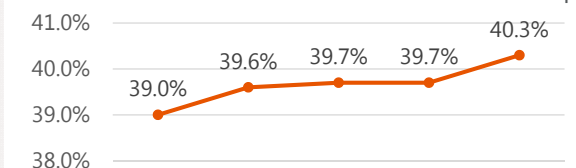
(1) 2019年4月18日公表「海外子会社における損失の計上に伴う通期業績予想の修正、および国内子会社での特別損失の計上に関するお知らせ」を参照

流通・小売り事業（D&R）、住宅・サービス事業等（H&S）

リフォーム関連売上が既存店売上を牽引し、増収。物流費等の増加により減益

4月-12月 億円	20/3期 3Q	YoY	20/3期 通期予想	
D & R	売上 ⁽¹⁾	1,422 +5%	1,880 +7%	
	事業利益 ⁽¹⁾	69 -9%	62 -20%	
	事業利益率 ⁽¹⁾	4.9% -0.7pt	3.3%	

- 20/3期3Q 9か月で、5店舗新規出店。年間計画7店舗
- 新物流センター9月稼働開始（東松山）
- リフォーム関連売上構成比率（前年同期比+1.3pt）

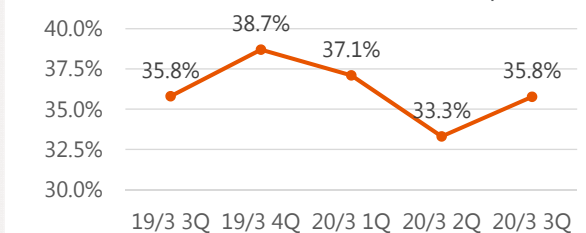


中長期でリフォーム関連商品売上構成比率50%をめざす

前年度不動産大型物件売却の剥落をBtoCの伸長により非新築比率を維持。利益率改善、増益

4月-12月 億円	20/3期 3Q	YoY	20/3期 通期予想	
H & S	売上	406 -1% ⁽³⁾	570 -1%	
	事業利益	27 +3%	33 -4%	
	事業利益率	6.5% +0.2pt	5.8%	

- 新築以外⁽²⁾売上構成比（前年同期比 0pt）



中長期で新築以外売上構成比率50%をめざす



(1) IFRSベース (株)LIXILピバ（証券コード:3564）は日本基準
 (2) 既存・非新築領域、新事業領域

(3) シニアライフカンパニー売却影響除く +1%

連結財政状態

億円	[A]	[B]	増減		
	19/3月末	19/12月末	会計基準 適用影響 ⁽³⁾ (IFRS16)	その他 (実質増減)	[B]-[A] 増減合計
現金及び現金同等物	1,414	1,458	-	44	44
営業債権及びその他の債権	4,017	3,888	-	① -128	-128
棚卸資産	2,346	2,447	-	① 101	101
売却目的で保有する資産	114	-	-	-114	-114
その他	12,704	14,265	1,663	② -102	1,561
資産合計	20,595	22,059	1,663	-200	1,464
営業債務及びその他の債務	3,924	3,778	-	① -146	-146
有利子負債	7,260	8,900	1,663	-23	1,640
売却目的で保有する資産に直接 関連する負債	50	-	-	-50	-50
その他	3,690	3,603	-	-87	-87
負債合計	14,924	16,280	1,663	-307	1,357
自己株式	-489	-489	-	0	0
その他	6,161	6,268	-	107	107
純資産合計	5,672	5,779	-	107	107
(1) 自己資本比率(%)	25.9%	③ 24.7%	-	-	-1.3pt
(2) 一株当たり純資産(円)	1,839.59	1,875.00	-	-	35.41
期末株式数(千株)	290,095	290,101	-	-	6
Net有利子負債	5,845	③ 7,442	-	-	1,596

- ① 主として、季節要因による増減 ② 為替（対ユーロ円高）影響・子会社売却等による減少
 ③ 会計基準適用影響（IFRS16）を除く：自己資本比率は、26.7%；19/3月末 +0.8pt改善
 Net有利子負債は、5,778億円；対19/3月末 67億円減少

LIXIL

(1) 親会社所有者帰属持分比率
 (2) 1株当たり親会社所有者帰属持分

(3) 新会計基準（IFRS16「リース」）が当同期首より強制適用されたことによる
 期首(2019/4/1)時点における影響額 15

キャッシュフローの状況及び現金残高

億円	19/3期 3Q	20/3期 3Q	増減額
税引前利益	362	532	170
減価償却費及び償却費	510	800	① 291
法人所得税等支払	-261	-137	124
運転資本	-297	-102	195
その他 ⁽¹⁾	-54	-85	-31
営業キャッシュフロー	260	1,009	② 749
投資キャッシュフロー	-523	-206	③ 317
（うち有形・無形資産取得支出）	-483	-469	14
フリーキャッシュフロー	-263	802	④ 1,065
財務キャッシュフロー	151	-771	① ⑤ -923
現金及び現金同等物の期末残高	1,306	1,458	151

- ① 新会計基準（IFRS16）適用影響：営業キャッシュフローへの影響（減価償却費及び償却費の増加）291億円増加
 財務キャッシュフローへの影響（リース負債の支払増加）280億円減少
 ② 営業キャッシュフロー：税引前利益の増加及び運転資本の改善により、749億円の増加
 ③ 投資キャッシュフロー：連結子会社の株式譲渡、関連会社に対する持分の売却による収入を主因として317億円の増加
 ④ フリーキャッシュフロー：前年同期比1,065億円の増加（除く、IFRS16影響：前年同期比775億円の増加）
 ⑤ 財務キャッシュフロー：リース負債の支払増加280億円、その他営業キャッシュフローの増加を
 背景として、運転資金外部調達額923億円の減少により減少

LIXIL

(1) 主として、関連会社に対する持分の処分益110億円

16

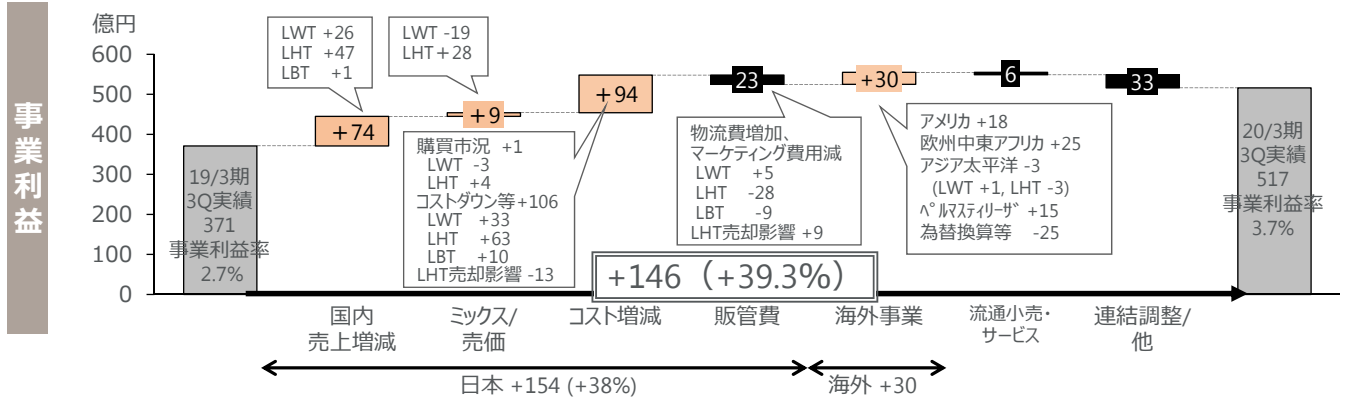
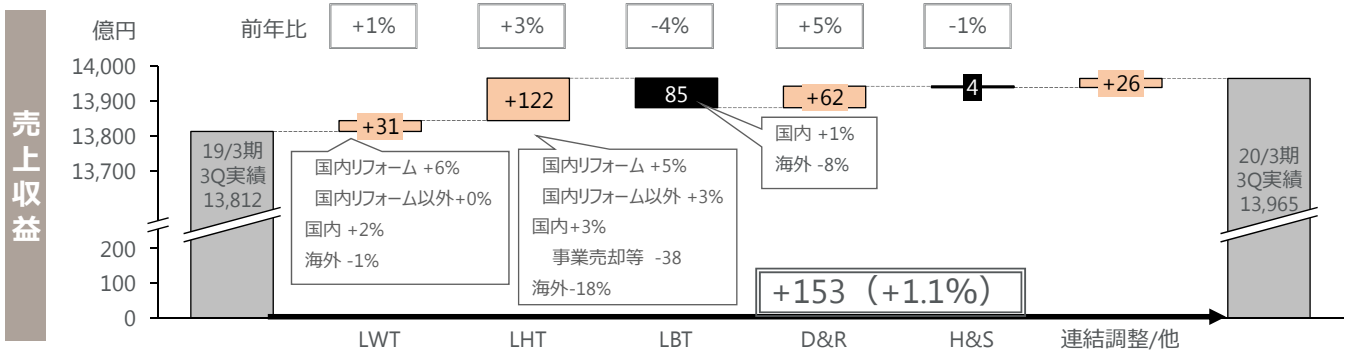
ご参考

2020年3月期 第3四半期連結業績結果（詳細）

億円	19/3期	20/3期	前年同期比		20/3期
	3Q実績	3Q実績	増減	%	通期
	実績	実績			業績予想
売上収益	13,812	13,965	153	1.1%	18,500
[△] ルマステイラー [△] 以外	12,609	12,855	246	+2.0%	17,030
[△] ルマステイラー [△]	1,203	1,110	-93	-7.7%	1,470
事業利益⁽¹⁾	371	517	146	39.3%	470
[△] ルマステイラー [△] 以外	462	592	129	+28.0%	590
[△] ルマステイラー [△]	-91	-75	16	-	-120
営業利益	383	457	74	19.3%	380
[△] ルマステイラー [△] 以外	449	560	110	+24.6%	579
[△] ルマステイラー [△]	-66	-103	-37	-	-199
最終利益⁽²⁾	21	307	286	-	150
[△] ルマステイラー [△] 以外	245	426	181	+73.9%	369
[△] ルマステイラー [△]	-224	-119	104	-	-219
EPS (円)	7.36	105.79	98.43	-	51.71
EBITDA⁽³⁾	881	1,318	436	49.5%	1,504
(%)	6.4%	9.4%	+3.1pt	-	8.1%

■ EBITDAに含まれる会計基準適用影響（IFRS16）は、291億円（EBITDAの増加）

第3四半期売上収益・事業利益の増減（前年同期差）



LIXIL

19

第3四半期 その他収益・費用、金融収益・費用、関係会社持分の処分益 内訳

億円	19/3期 3Q実績	20/3期 3Q実績	増減額
貸貸収入	50	44	-6
有形固定資産売却益	2	10	9
子会社株式売却益	-	14	14
投資不動産売却益	6	6	0
売目資産の公正価値評価損（戻入益）	20	-	-20
その他	37	43	6
その他の収益	116	118	2
貸貸原価	32	33	1
有形固定資産除売却損	18	12	-6
減損損失	15	68	53
構造改革費用	-	13	13
その他	40	53	13
その他の費用	104	179	74
受取利息	10	11	1
受取配当金	15	15	0
デリバティブ評価益	14	2	-12 (1)
その他	13	-	-13
金融収益	51	28	-24
支払利息	40	47	8
為替差損	30	14	-16 (1)
その他	1	0	-1
金融費用	71	62	-9
関連会社に対する持分の処分益	-	110	110

(1) 「デリバティブ評価益」は「為替差損」と両建てで表示されています。

	20/3期 3Q実績
デリバティブ評価益	2
為替差損	-14
Net	-13 損



LIXIL

20

セグメント別 実績及び通期業績予想

億円		19/3期 3Q			20/3期 3Q				20/3期 通期予想			
		国内	海外	計	国内	海外	計	前年同期比%	国内	海外	計	前年同期比%
LWT	売上	3,259	2,945	6,205	3,331	2,905	6,236	0.5%	4,350	4,250	8,600	3.2%
	事業利益	231	230	461	274	248	522	13.2%	237	411	648	7.5%
	%	7.1%	7.8%	7.4%	8.2%	8.5%	8.4%	+0.9pt	5.4%	9.7%	7.5%	+0.3pt
LHT	売上	3,969	80	4,049	4,106	66	4,171	3.0%	5,280	70	5,350	-1.1%
	事業利益	162	-2	160	271	-5	266	65.8%	269	-10	259	25.2%
	%	4.1%	-	4.0%	6.6%	-	6.4%	+2.4pt	5.1%	-	4.8%	+1.0pt
LBT	売上	821	1,203	2,024	829	1,110	1,939	-4.2%	1,160	1,470	2,630	2.7%
	事業利益	11	-93	-81	14	-77	-63	-	23	-120	-97	-74.6%
	%	1.4%	-	-	1.7%	-	-	-	2.0%	-	-	-
D&R	売上	1,360		1,360	1,422		1,422	4.6%	1,880		1,880	6.6%
	事業利益	76		76	69		69	-9.1%	62		62	-19.7%
	%	5.6%		5.6%	4.9%		4.9%	-0.7pt	3.3%		3.3%	-1.1pt
H&S	売上	410		410	406		406	-1.0%	570		570	-1.4%
	事業利益	26		26	27		27	2.7%	33		33	-4.5%
	%	6.3%		6.3%	6.5%		6.5%	+0.2pt	5.8%		5.8%	-0.2pt
連結調整・他 ⁽¹⁾	売上			-236			-210	-			-530	-
	事業利益			-271			-304	-			-435	-
LIXIL グループ ⁽¹⁾	売上	9,819	4,228	13,812	10,094	4,081	13,965	1.1%	13,240	5,790	18,500	0.9%
	事業利益	507	136	371	655	166	517	39.3%	624	281	470	267.2%
	%	5.2%	3.2%	2.7%	6.5%	4.1%	3.7%	+1.0pt	4.7%	4.9%	2.5%	+1.8pt

LIXIL

(1) 国内・海外の売上/事業利益の合計と「計」の金額の差は、連結調整・他の金額です

21

日本 - 国内リフォーム戦略の進捗：リフォーム向け売上の拡大への注力

▶ 上期の好調な国内需要と新商品の好調な売上を背景にリフォーム商材売上は前年同期比+4.5%

リフォーム商材売上			
億円	19/3期 3Q 実績 ⁽¹⁾	20/3期 3Q 実績	前年 同期比
リフォーム商材売上(※)	2,362	2,469	+4.5%
リフォーム比率	37%	37%	+0.2pt

※ LIXILジャパンカンパニーとビルリフォーム子会社の売上合計(内部取引消去後)

売上前年同期比	3Q 3か月	3Q 累計
リフォーム商材	LWT-1%, LHT-7%, 合計-4%	LWT+6%, LHT+5%, 合計+5%
リフォーム商材以外	LWT-4%, LHT-6%, 合計-4%	LWT 0%, LHT+3%, 合計+2%

リフォーム加盟店の推移			
店	18年 3月	19年 3月	19年 12月
LIXILリフォームショップ (FC)	546	571	562
LIXILリフォームネット (ポランタリー)	12,602	11,783	11,770
リクシルPATTOリフォーム サービスショップ	3,705	3,800	3,581

▶ セグメント別リフォーム商材売上比率

セグメント	19/3期 3Q	20/3期 3Q	差
LWT	44%	45%	+0.9pt
LHT	32%	32%	+0.4pt
LBT	27% ⁽¹⁾	24%	-3.1pt
国内・計	37% ⁽¹⁾	37%	+0.2pt

高性能住宅を実現する「SW工法」を「リフォーム向け」に新開発⁽²⁾

日本のストック住宅では、約40%が未だ無断熱⁽³⁾

住まいながら家1棟まるごとの断熱改修を実現する工法の開発により、日本の住宅の高性能化を促進し、豊かで快適な住生活の未来に貢献



2020年1月から東北エリアで先行発売、2021年4月から全国展開予定。

LIXIL

(1) 同一基準に基づく比較を可能とするため、前年同期のリフォーム売上高を遡及修正しています

(2) ニュースリリース <https://newsrelease.lixil.co.jp/news/pdf/2019121302.pdf>

(3) 出典：国土交通省「既存住宅ストックの現状について」

22

商品・サービス別売上状況

セグメント	主要商品名	19/3期 通期実績	19/3期 3Q実績	20/3期 3Q実績	前年 同期比 (%)	前年同期比						
						19/3期				20/3期		
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
LWT	衛生機器	1,034	774	806	4.1	-2.8	-5.0	-0.6	-3.8	1.4	10.9	0.2
	バスルーム	993	755	780	3.4	2.8	-3.2	-5.3	-4.9	-1.4	11.2	0.8
	洗面化粧台	369	272	279	2.6	2.0	-1.9	-0.5	0.3	0.6	12.6	-4.4
	キッチン	1,123	835	850	1.8	1.6	-3.2	-1.9	0.0	0.2	11.3	-5.4
	タイル	377	280	272	-2.9	3.6	-4.2	0.7	-2.6	-5.0	5.1	-8.2
LHT	住宅サッシ	1,862	1,408	1,459	3.6	-7.4	-7.3	0.5	3.8	5.5	10.2	-4.1
	エクステリア	1,110	831	847	1.9	-3.9	-3.8	12.1	11.8	5.5	13.4	-10.3
	インテリア建材	641	474	531	12.0	0.2	0.9	10.0	13.1	16.1	20.8	1.4
	その他LHT	872	645	623	-3.4	3.6	4.9	8.8	0.7	7.6	4.0	-19.3
LBT	ビルサッシ	1,128	821	829	1.0	6.5	-0.2	7.1	10.0	0.4	0.3	2.2
D&R	ホームセンター売上	1,764	1,360	1,422	4.6	-1.0	1.7	3.4	2.4	4.9	11.8	-2.3
H&S	住宅・サービス事業	579	410	406	-1.0	7.6	11.3	-5.1	31.9	6.0	-1.0	-6.9
	海外売上	5,518	4,228	4,081	-3.5	1.6	-0.9	0.4	-14.0	-2.6	-1.2	-6.5
	その他・連結調整等	955	718	781	8.7	-	-	-	-	-	-	-
	売上合計	18,326	13,812	13,965	1.1	0.9	-1.4	2.7	-1.6	2.1	6.2	-4.5

※タイルとその他LHTについて、当第2四半期において社内管理の定義に合わせて変更しました。過去実績・過去前年同期比も合わせて変更しています。

LIXIL

23

主要海外子会社業績

会社名	ASB (ASD Holdings)		
通貨・単位	単位：百万米ドル		
決算期	19/3期 3Q 実績	20/3期 3Q 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	110.82	109.10	-
売上高	929	915	-2%
事業利益	39	50	29%
事業利益率	4%	6%	+1.3pt

決算期	19/3期 期末残高	20/3期 3Q (9ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	110.99	109.10	-	109.56
のれん	231	-	-	231
無形資産	235	-5	0	230

会社名	Grohe Group (グローエ) ⁽²⁾			
通貨・単位	単位：百万ユーロ			
決算期	19/3期 3Q 実績	20/3期 3Q 実績	前年同期比	(参考) LIXIL Africa影響 除く前年同期比 ⁽²⁾
為替レート(期中平均レート)	129.38	121.46	-	-
売上高	1,094	1,146	5%	8%
事業利益	111	135	21%	13%
事業利益率	10%	12%	+1.6pt	+0.5pt

決算期	19/3期 期末残高	20/3期 3Q (9ヵ月)		期末残高
		償却額	その他 ⁽¹⁾	
為替レート (残高は期末レート、償却は期中平均レート)	124.56	121.46	-	122.54
のれん	1,210	-	3	1,213
無形資産	1,474	-17	0	1,457



LIXIL

(1) 為替換算差額など
(2) 2019/7よりLIXIL Africa (旧GDWT) はGrohe Group傘下から(株)LIXILの子会社となっています

24

主要海外子会社業績

会社名	Permasteelisa (パルマスティリーザ)		
通貨・単位	単位：百万ユーロ		
決算期	19/3期 3Q 実績	20/3期 3Q 実績	前年同期比
為替レート(期中平均レート)	129.38	121.46	-
売上高	931	919	-1%
事業利益	-72	-59	-
事業利益率	-	-	-

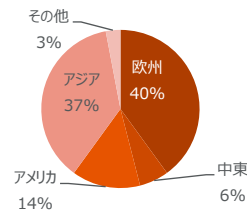


決算期	19/3期 期末残高 ⁽²⁾	19/3期 3Q (9ヵ月)			期末残高
		償却額	減損	その他 ⁽¹⁾	
為替レート(残高は期末レート、償却は期中平均レート)	124.56	121.46	-	-	122.54
のれん	-	-	-	-	-
無形資産	-	-	-	-	-
工事損失引当金	45	-	-	-8	37

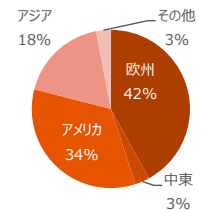
■ 受注状況

通貨・単位	単位：百万ユーロ	
決算期	19/3期 3Q 実績	20/3期 3Q 実績
新規受注 ⁽³⁾	763	702
期末残高	1,969	1,683

20/3期 3Q 新規受注額



20/3期 3Q 受注残高



- (1) 為替換算差額、引当金純増減額など
 (2) 2019年3月期末の残高を、有価証券報告書の開示に合わせて修正しました
 (3) 19/3期 3Q決算説明資料掲載の数字を修正しました

事業関連トピックス

「KITCHEN & BATH INDUSTRY SHOW (KBIS)」2020に出展⁽¹⁾



- 各ブランドの世界観を表現したブースで、最新デザインの商品を紹介
 - American Standard：キッチンおよび浴室向け「Studio S Collection」
 - DXV：浴室向け「Belshire Collection」- House Beautiful誌の「Best of KBIS」を受賞
 - GROHE：衛生陶器のコレクション「Essence」と「Eurocube」
- 「GROHE Blue Chilled & Sparkling 2.0」がBeautiful Kitchen and Baths誌の「30 Most Innovative Products（最も革新的な30商品）」に選定
- LIXILが国際協力NGO ワールド・ビジョンのパートナーシップ賞を受賞 - 支援が必要な人に対する商品の寄付で貢献

GROHEが

“Red Dot: Brand of the Year”を受賞⁽²⁾



- 優れたデザインとブランド価値を創造し、「水を楽しむ喜び」を一貫して訴求してきたことが評価され、受賞
- 業界を超えて、日々の暮らしの中で愛着を感じるブランドや商品として、GROHEブランドの認知が拡大
- 応募総数8,697のうち、受賞は3ブランドのみ



- (1) ニュースリリース https://www.lixil.com/jp/news/pdf/20200124_KBIS_J.pdf
 (2) ニュースリリース (英語のみ) https://www.grohe.com/en/corporate/news/category_news/pressreleases/pressrelease/news_14144.html

ESG関連トピックス(1)

CR戦略の更新 - 社会課題解決に向けた取り組みを強化⁽¹⁾

主な変更点

グローバルな衛生課題の解決

“すべての人に衛生を”
2025年までに衛生環境の改善に関する
取り組みを通じ、
1億人の生活の質を向上させます



- 目標年を**2020年から2025年に変更⁽²⁾**
- SATOソーシャルビジネスのほか、
世界各国で衛生環境の改善に寄与する
あらゆるビジネス・CR活動も含める

水の保全と環境保護

“CO₂ゼロ・循環型の暮らしを”
2050年までに、事業活動と製品・サービス
を通じたCO₂排出実質ゼロを実現し、水の恩
恵と限りある資源を次世代に繋ぐものづくり
におけるリーディングカンパニーとなります



- **環境ビジョン2050⁽³⁾を反映**
- CO₂削減と並行し、**水の保全や資源循環にも注力**

多様性の尊重

“すべての人に働きがい”
“すべての人により製品を”
2020年までにすべての従業員にダイバーシティ&
インクルージョン文化を浸透させます
2030年までにすべての製品・サービス*をLIXILユニバーサル
デザインコンセプトに基づくものとします



*日本国内で提供する製品・
サービスが対象(2019年8月時点)

- **ユニバーサルデザイン(UD)目標を追加**
- UDの対象を年齢、性別、障がいの有無を問わず、
すべての人に拡大



(1) 2019年11月25日公表 プレスリリース「LIXILグループコーポレート・レスポンスポリシーの目標を更新」
https://www.lixil.com/jp/news/pdf/191115_CR_J_Final_clean_web.pdf (3) 20/3期 第2四半期決算説明資料 14ページご参照 27
(2) LIXILは世界で約1,500万人の衛生環境の改善に貢献(2019年11月時点)

ESG関連トピックス(2)

国内外のパートナーシップを通じグローバルな衛生課題の解決に貢献

みんなにトイレをプロジェクト2019

LIXILの一体型シャワートイレ 1台ご購入につき、
売上の一部を寄付
(対象期間：2019年6月～11月)

2019年の活動では、寄付総額は
25,990,052円となりました。



寄付金はユニセフとの
「Make a Splash! みんなにトイレを」パートナーシップを
通じ、安全で衛生的なトイレ設置のためのインフラ整備
や衛生教育などに使用される予定⁽¹⁾

JICAと連携協力覚書を締結

LIXILグループは、開発途上国における衛生環境の改善や
安全なトイレの確保に向けて連携を加速することを目的
に、
独立行政法人国際協力機構 (JICA) と連携協力覚書
を締結



JICAが水と衛生分野で連携協力の覚書を民間企業と締結するのは今回が初めて。今後、アフリカやアジアなどでトイレの普及状況や衛生環境に関する調査、衛生的なトイレの普及に向けた活動を連携して推進⁽²⁾



(1) 詳細情報 <https://www.lixil.co.jp/minnanitoirewopj/>
(2) ニュースリリース https://www.lixil.com/jp/news/pdf/JICA_MOU_J_web.pdf

外部評価

DJSI World

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスとRobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI World」の構成銘柄に初めて選定 (2019年9月)



FTSE4Good Index Series

FTSE Russell社⁽¹⁾の「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄と「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年6月)



DJSI Asia Pacific

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスとRobecoSAM社のダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) の「DJSI Asia Pacific Index」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年9月)

S&P Japan 500 ESG

S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスの「S&P Japan 500 ESG」の構成銘柄に初めて選定 (2019年6月)

MSCI日本株女性活躍指数

MSCI社の「MSCI日本株女性活躍指数(WIN)」の構成銘柄に3年連続で選定 (2019年6月)



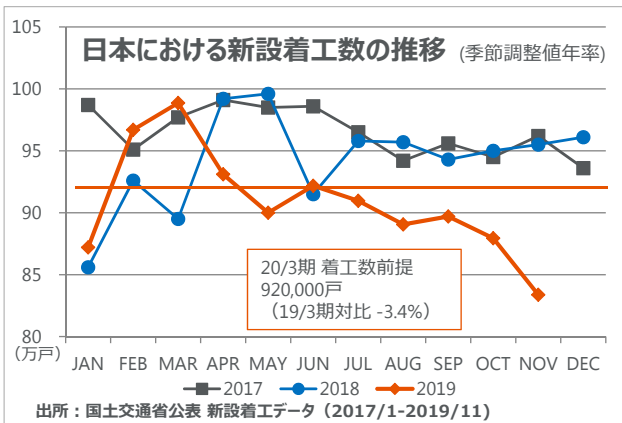
免責事項
株式会社LIXILグループのMSCI指数への組み入れ、及び本ページにおけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名の使用は、MSCIまたはその関連会社による株式会社LIXILグループへの後援、保証、販促には該当しません。MSCI指数はMSCIの独占的財産です。MSCI指数の名前およびロゴはMSCIまたはその関係会社の商標またはサービスマークです。



(1) FTSE International LimitedとFrank Russell Companyの登録商標です。

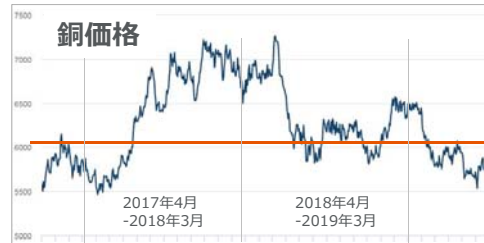
29

事業環境



新築着工水準 (対前年比)

- 2019/1-3 : 5.2%
- 2019/10-11 : -10.1%
- 2019/1-9 : -2.0%



	2019年1月-11月 (11ヵ月)		2019年4月-11月 (8ヵ月)	
	戸数	前年比	戸数	前年比
総数	832,949	-3.6%	617,338	-6.3%
持家(1)	266,444	2.9%	201,123	1.6%
貸家	314,678	-13.9%	233,568	-16.0%
分譲マンション	108,846	7.8%	77,016	-1.6%
分譲戸建(2)	135,095	4.4%	100,323	3.3%
戸建合計(1)+(2)	401,539	3.4%	301,446	2.2%

為替 (期中平均レート)	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 計画前提
米ドル	110.81円	110.69円	115円
ユーロ	129.45円	128.43円	133円

原材料価格の 実績と前提	18/3期 実績	19/3期 実績	20/3期 計画前提
アルミ価格 (購入ベース)	23.4万円/トン	24.9万円/トン	23.7万円/トン
銅価格	63.9万円/トン	63.2万円/トン	69.4万円/トン



30



この資料には、(株)LIXILグループの将来についての計画と予測の記述が含まれています。
これらの計画と予測は、リスクや不確定要素を含んだものであり、実際の業績は様々な重要な
要素により当社の計画・予測と大きく異なる結果となる可能性があります。